

おくにん

77億人えがおプロジェクト

『ソーシャルディスタンスで離れた距離だけ、笑顔で』

9月

か え おく
②描いた絵をデータで送ろう



どうやって
送れば良いですか？

おうちの人や先生、周
りの大人に手伝っても
らおう！そのときは、
このチラシを見せてね。



カメラやスキャナ
でデータ化し送付⇒



(応募フォーム 8/8～利用開始)

<http://ouen-mura.com/egao77/>



名前も公開さ
れますか？

イラストと一緒に書いた
文字は公開されるよ。
名前を秘密にしたいと
きは絵だけにしとね。

③応援村公式アカウント
(Instagram・Facebook・YouTube
等)で、みんなのえがお(イラ
スト)を公開

*一部は応援村公式ソングと共に、
動画公開を予定

11月

【お知らせ】

あなたのえがお(イラスト)公開の時期や方法については、
応援村公式HP <https://ouen-mura.homes> 又は「応援村通信」
にてお知らせします。

*「応援村通信」配信登録はこちら⇒
<https://ouen-mura.homes/inquiry-kd>



8月

か
①あなたのえがおを描いてください



何に描いた
ら良いですか？

画用紙・ハガキ・
要らなくなった紙
の裏・段ボール・
マスク何でもOK！
パソコン等を使っ
たデジタルイラス
トでもOK！
身の回りにある物
を工夫してみよ
う！

(協力してくださる大人の皆様へ)

「77億人えがおプロジェクト」の願い

ソーシャルディスタンスで物理的距離が生じ、人と人がすれ違う時、な
んだか怪訝な顔をしながらすれ違う日々。そんな、「新しい日常」で生じて
しまった心の距離を埋めるため、子どもたちと一緒に笑顔を増やすプロジェ
クトを立ち上げました。

『ソーシャルディスタンスで離れた距離だけ、笑顔で』

この言葉をキャッチコピーに、未来を担う子どもたちの沢山の笑顔を、
歌と共に未来へ届けたいと思います。

本趣旨にご賛同くださる大人の皆様、是非、子どもたちとご参加ください。
よろしくお願い申し上げます。

「コロナと闘う応援村」実行委員会委員長 鈴木康友(静岡県浜松市長)

● 応援村公式ソング：「守ってあげたい」
(作詞・作曲：松任谷由実／編曲：松任谷正隆)

主催：「コロナと闘う応援村」実行委員会
後援：みずほ銀行 J Coin-Pay



世の中、半分の人は、団結しよう、コロナと闘おうと思っている。そして、残り半分は、おそらく考える余裕もない人、あるいは自分の利益を考えている人のように思う。

僕は、前者 半分の人たちに伝えたいことがある。

今、ダメだと言われているスキャンシップや触れ合いは、どんなわけだかまりも一発で収めてしまう力がある。それができなくなるということがある。それに代わるものを、一時的なものであれ、作り上げるにはこれまでの何倍もの努力が必要になると思う。

あるテレビ番組で、子ども同士が近づいていると、「危ないよ」と先生が声を掛ける場面があった。僕はこれを見て危機感を抱いた。今の子どものたちは、他人を「危ないもの」と思っていていくのだろうか。

子どもたちに、まず何らかの働きかけができないだろうか。子どもたちと一緒に、スキャンシップのできない関係を乗り越える「何か」を作れないだろうか。それがスタート。

すれ違う人は敵じゃない。怖いものじゃない。

本来、長期的な、時間のかかる話だとは思いますが、今、すぐに子どもたちができることをやりたい。

僕は、そう思い、応援村事務局に連絡をしました。

「応援村」と初めて出逢ったとき、フットワークの軽い動きができる場だと感じました。

「77億人えがおプロジェクト」は、小山薫堂委員のネーミングです。是非、ここにお集まりの皆さんと、子どもたちのために何か始められたら、そんな幸いです。

（「77億人えがおプロジェクトの原点」第2回応援村首長説明会 松任谷正隆委員挨拶から）

「応援村」とは、全国各地の様々な地域で懸命に生きる人たちを応援するプロジェクトです。地域活性化・コミュニティの再生（人を孤独にしない）という応援村の社会的使命と役割を果たすため、自治体首長が中心となり「コロナと闘う応援村」実行委員会を組成（令和2年5月18日）。同実行委員の松任谷正隆氏・小山薫堂氏と賛同自治体（鈴木三重県知事・鈴木浜松市長・門川京都市長等）が中心となり、公民連携「77億人えがおプロジェクト」など具体的な取組を推進しています。

推進体制 「コロナと闘う応援村」実行委員会（令和2年7月18日）※敬称略・順不同

< 首長委員 > 23自治体（1県1区20市1町）

鈴木康友 浜松市長(実行委員長)、鈴木英敬 三重県知事(実行委員長代理)、長谷部健 渋谷区長、門川大作 京都市長、高島宗一郎 福岡市長、大西一史 熊本市長、佐藤孝弘 山形市長、白岩孝夫 南陽市長、松本武洋 和光市長、國定勇人 三条市長、田中幹夫 南砺市長、山野之義 金沢市長、三木正夫 須坂市長、今井敦 茅野市長、小園拓志 御代田町長、東坂浩一 大東市長、前田晋太郎 下関市長、上村一郎 東かがわ市長、大久保勉 久留米市長、田辺一城 古賀市長、小松政 武雄市長、長野恭紘 別府市長、中山義隆 石垣市長

< 民間委員 >

松任谷正隆(音楽プロデューサー)、小山薫堂(放送作家)、浅見泰司(東京大学副学長・東京大学大学院工学系研究科教授)、出口治明(立命館アジア太平洋大学(APU)学長)、中村伊知哉(iU学長)、清水千弘(東京大学CSIS特任教授)、菊池尚人(慶応大学特任教授)、西芝雅美(ポートランド州立大学行政学部長)、貝原良太(医療法人貝原医院理事長)、松岡泰裕(巨樹の会事務局長)、小堀恭志(フェイスブックジャパン執行役員公共政策統括)、大坪拓摩(日本デザイン代表取締役)、垣内俊哉(ミライロ代表取締役社長)、直江弘文(愛知県議)、樋渡啓祐(元武雄市長)

< 全国応援村実行委員会事務局 > contact-form.ouen-mura.com

※▲を@に換えてください



「応援村大使」くまモン

スケジュール

令和2年

3月23日 「コロナと闘う応援村」立ち上げ

5月18日 「コロナと闘う応援村」実行委員会発足

5月21日 Facebook Japan連携事業（情報発信セミナー）

6月 1日 ビームス ジャパンプロデュース 応援村Tシャツ・ポロシャツ・手ぬぐいリリース

8月 1日 「77億人えがおプロジェクト」開始

11月頃 応援村公式アカウント（Instagram・Facebook・YouTube等）えがおイラスト一般公開

みずほ銀行連携事業開始（J-Coin Payによる募金活動）